

健康経営優良法人2021（中小規模法人部門）における新たな冠①

- 中小規模法人への健康経営の普及を更に拡大させていく必要性を鑑み、認定法人の中でも差異化が出来るよう、大規模法人における「ホワイト500」のような新たな冠を創設する。
- 健康経営優良法人2021（中小規模法人部門）の中から、「健康経営優良法人の中でも優れた企業」かつ「地域において、健康経営の発信を行っている企業」として優良な上位500法人に対して、新たな名称を付加して表彰する。

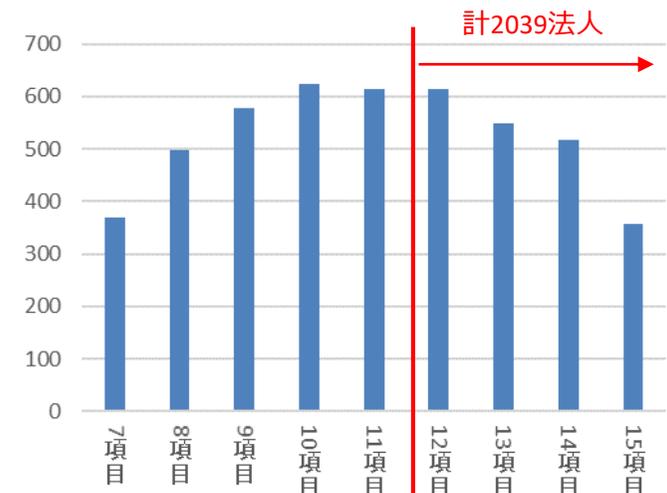
選定方法

- 「健康経営の評価項目における適合項目数」および、新設する「健康経営の取り組みに関する地域への発信状況」を評価する。
- 健康経営優良法人の中でも優れた企業であることを重視し、**選択項目15項目中12項目以上適合していること**を条件とする。
（※大規模の優良法人における条件と同レベル）
- そのうえで、以下のウエイトで配点し上位500法人を算出する。

分類	ウエイト
健康経営の評価項目における適合項目数 ※12項目以上に対し1項目ごとに加点	3
健康経営の取り組みに関する自社からの発信状況 (自社HPへの掲載等)	2
健康経営の取り組みに関する外部からの 発信依頼を受けての発信状況 (取材、講演会の対応等)	2

(参考) 適合項目数別の優良法人数

- 昨年度の優良法人のうち、12項目以上適合した法人は2039法人。優良法人全体の43.8%。



健康経営優良法人2021（中小規模法人部門）における新たな冠②

- 新たな冠の名称について、2020年3月27日から5月15日までの期間、一般募集を行った。公募結果を整理すると、「ブライト」や「かがやき」等健康経営によって輝いているイメージの名称と大規模法人部門と同様に「ホワイト」を使った名称の2つの傾向があり、「**ブライト500**」の応募数が**最多**であった。
- 基準検討委員会でのご意見も踏まえ、「**健康経営によって輝き、未来と地域を照らす企業**」という**意味を含め「ブライト500**」としてはどうか。
- 正式名称は健康経営優良法人（中小規模法人部門（ブライト500））としたい。

(参考) ロゴイメージ



一定の数値化のルールを設けることで、特に優れた取組や、地域における健康経営の拡大に寄与する取組を行う法人を選定する



取り組み始めたばかりの中小企業でも申請しやすいというメリットがある一方で、高いレベルの法人が取り上げられにくい

募集結果

新たな冠の名称候補	応募数
ブライト500	11
スマイル500	9
クリーン500	8
かがやき500	7
プラチナ500	6
グリーン500	5
きらめき500	5
パイオニア500	4
すこやか500	4
いきいき500	4
リード500	3
リーダー500	3
みらい500	3
ファイン500	3
パール500	3
グレート500	3
クリア500	3

健康経営優良法人
(中小規模法人部門 (**ブライト500**))

健康経営優良法人
(中小規模法人部門)

健康宣言に取り組む法人・事業所
(日本健康会議 宣言5)
30,000法人

中小企業・中小規模医療法人 等